

- 淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん -

月刊

ポケットあわじ

発行日 2004年11月1日

VOL.30

台風23号による被害者のみなさまに 心よりお見舞い申し上げます

～ 力をあわせてがんばりましょう！～

淡路島各地に甚大な被害をもたらした台風23号。被災された方々に、心からお見舞い申し上げます。

「ポケットあわじ」では、被災された方、支援したいという方々に少しでも役に立てばと、情報を集めました。

阪神・淡路大震災から10年。復興を成し遂げてきた私たちの力をあわせて、一日も早く元気の淡路島を取り戻しましょう。

ボランティア募集（11月1日現在）

泥かき出し作業、畳・家具搬出、家周りの清掃、土砂の撤去などのボランティアを募集しています。

洲本市災害ボランティアセンター

洲本市塩屋1-1-8【ジャスコ洲本店とレストラン「御食国（みけつくに）」の間】

9:30より受付後、派遣先に振り分けます。＊ボランティアスタッフも募集中。

TEL0799-26-3820/FAX0799-26-3821

一宮町災害ボランティアセンター

一宮町北山の社会福祉協議会（ゆうゆうライフ）で受付後、派遣先に振り分けます。

手助けが必要な被災者も問い合わせください。

TEL0799-85-2040・3060

持ち物 作業できる服装、長靴、軍手またはゴム手袋、シャベル、マスク、カップ（雨具）、
弁当（昼食用）、飲み物（1リットル以上）、タオル、着替えなど。

＊三原郡四町ではボランティアの募集を終了しました。

＊他地域については、復旧の具合にもより募集内容が異なりますので、お問合せください。

五色町ボランティアセンター TEL0799-35-1166

こころのケア相談

災害に巻き込まれて「イライラする」、「眠れない」など心や体の変化についての無料相談を受けています。また、支援者のためのリーフレット配布、相談受付も行っています。

受付時間 平日9:00～17:00 兵庫県洲本健康福祉事務所 TEL0799-26-2063・2064

義援金の受付

義援金名称 台風23号兵庫県被災者義援金

募集期間 平成16年10月25日（月）～平成16年12月30日（木）

義援金受入口座

郵便振替口座

名 義 日本赤十字社兵庫県支部 口座番号「00930-0-1207」

・通信欄に「台風23号兵庫県被災者義援金」とご明記ください。

・郵便局窓口での取扱いの場合振替手数料は免除されます。



＊一部行事等の記事については、当初の日程で記載しています。必ず問合せをして確認するようお願いします。

南淡町 南淡町ホーム ページグループ

南淡町には福良、賀集、北阿万、阿万、灘、沼島の6つの公民館があります。そこではそれぞれ、ボランティアのホームページグループ会員がホームページを作成し、運営しています。

この取り組みは平成15年度南淡町コミュニティカレッジの「情報コース」から始まりました。

コミュニティカレッジでホームページの作成について学習し、地区ごとのグループに分かれて、それぞれのホームページを開設しました。開設後も会員研修を重ね、内容の充実に努めています。各地区のホームページでは公民館の講座やクラブ活動の紹介、行事の報告、地区の話題などを掲載しています。

南あわじ市の誕生後も地域に密着したより身近な情報を提供し、地域に親しまれるホームページを目指して活動に励んでいきますので、ぜひ、ご覧ください。南淡町公民館のホームページにもリンクしています。

URL : <http://www.farm.or.jp/english>

(取材：坂本和子)



「私たちのホームページに遊びに来てね！」

五色町 健康五色21

「健康・福祉・環境のまち五色町」とあるように五色町では、健康づくり事業は、昭和55年に「健康の町」宣言をして以来、様々な形で取り組んでいます。

中でも「県民健康村」内にある健康福祉総合センターでは現在、国の「21世紀の健康づくり」運動に基づき、独自に「健康五色21」をかげ、生活習慣病予防対策に力を入れています。

(取材：西岡真理子)

詳しくは、下記までお問合せください。

五色町健康福祉課 保健センター

TEL0799-33-0596・0503

URL : <http://www.town.goshiki.hyogo.jp>

一宮町 香りの町・香りの湯

香りの町として有名な一宮町は、昔から線香作りが盛んな町です。今でも江井の町中に入ったとたん、線香の香りが漂ってきます。

また、近年一宮町内では、ラベンダー、ミント、ヨモギなどいろいろなハーブも作られるようになりました。私たちのおすすめは、ハーブをふんだんに使った温泉「パルシェ香りの湯」。みなさんも一度そのお湯に入ってみてください。お肌がつるつるになりますよ。

(取材：今若千代美・松田節子)

「パルシェ香りの湯」
については下記までお
問合せください。

パルシェ香りの湯
TEL0799-85-1126



元氣を出そう淡路島

14回目を迎えるリサイクルセールは、十分使用できる物品を今使いたい、欲しいという方々に安価で提供し、限りある資源の大切さをこの機会に考えようということから始まりました。今回は台風23号により被災された方々にもぜひご参加頂き、人と人とのふれあいの中でお互いに元氣をもらって明日からのエネルギーにしていきたいと思います。

日 時 平成16年11月21日【日】10:00~14:00

場 所 県立淡路文化会館中央広場【晴天】

講 堂【雨天】

参加団体 晴天時は84グループが、雨天時は構成団体のみ

*当日は「台風23号・新潟県中越地震への義援金の募集を会場内にて行いますので、ご協力をお願いします。

問合せ先：県立淡路生活科学センター TEL 0799-85-0999 / FAX 0799-85-0400



おかげさまで30号

応援隊の我がまち紹介

ポケットあわじ創刊から2年半。今回で30号となりました。情報提供くださる方々、そして読者のみなさまのおかげと編集に携わる生活創造応援隊一同心より感謝しております。

今回は、淡路各市町の応援隊が「ポケットあわじ」の情報収集や配達で回っている地域の自慢話やおすすめスポットを紹介します。

淡路町

淡路和歌の路



大和島



絵島



←松帆の浦



高雄山観音寺

明石海峡大橋を渡ると、眼下には海沿いに集落をなす淡路町のまちなみ。時代が変わり、人々の暮らしぶりが変わっても、損なわれることなく残る景観の美しさや風情があります。

古来より、柿本人麻呂、藤原定家、西行、芭蕉など多くの歌人がこの地を愛で、句や歌を詠み残しました。



鳥の山展望台

田の代海岸～大和島～絵島～高雄山観音寺～鳥の山展望台～松帆の浦までの約4km。それが「淡路和歌の路」という“歌の遊歩道”となっています。

大橋のイルミネーションや対岸のきらめく夜景とは一味違う淡路町散策が楽しめます。レンタサイクルで、空海山の青と潮の香りを感じながら、歌碑を辿っていくと、時空を超えた小旅行となるかもしれません。

(取材：西浜益代)

詳しくは、淡路町商工観光課まで。TEL0799-72-3111

東浦町 道の駅 東浦ターミナルパーク

東浦ターミナルパークには、様々な施設があり、その名の通り公園として楽しめるようになっていっています。バスターミナルの周辺には、東浦町出身の水墨画家・中浜稔氏の「ねこの墨絵」をテーマにした「美術館」があります。また、同町出身の西村裕夫氏の作品の展示室や体験室がある「陶芸館」、季節の花や地元農家の農産物が並ぶ「ガーデンセンター」、土産物を販売している「地域物産展館」があります。

周りには、美術ギャラリー、図書館、多機能ホールを備えた「サンシャインホール」、「パターゴルフ場」などがあります。秋の一日、ゆっくりお散歩にいらしゃいませんか。（取材：小田美根子）

詳しいことは、東浦町観光協会まで。TEL0799-74-4101 URL: <http://www.awaji-is.or.jp/higashi> 1



美しい建物が並ぶパーク内



洲本市 三熊山洲本城

洲本市街を望む三熊山（標高133m）の山上一帯に築かれた洲本城。日本最古の模擬天守閣や柴右衛門狸を祭った祠などがあり、その歴史は古く戦国時代までさかのぼります。当時の建物は残っていませんが、壮大な総石垣、登り石垣の存在などから全国有数の山城と言えます。

また暖帯樹の原生林を残す三熊山の自然公園は、貴重な植物も多く散策コースに最適！森林浴でこころのリフレッシュを～！！

（取材：石田仁美・和田和子）

洲本市民にはなじみの風景です。

西淡町 伝統とアートの瓦 緑町 倭文織（しづおり）

昔から瓦の生産を地場産業としてきた西淡町は、伝統とアートが息づく町です。町のあちこちで瓦のモニュメントが見られます。最近では、津井町民グラウンドの斜面に、小学生が絵を焼付けた瓦が飾られています。他にも、役場前の「ジャイアント鬼瓦」、長島茂雄さんら著名人をはじめとする1,000人以上の手形を焼きこんだ野外ステージ、瓦橋などたくさんあります。

また、西淡町西路団地では、屋根材に淡路瓦を使用すると町の助成を受けることができます。

詳しくは西淡町商工観光課まで。

TEL0799-36-3111 （取材：岡鼻あかね）



こどもたちが絵を描いたオリジナル瓦



染め上げたパンダナをかぶって。



織りに挑戦！

「倭文織」って知っていますか？「しづおり」と読みますが、これは5世紀後半から倭文部（しどりべ）によって生産された織物の名前です。麻の糸などを青や赤に染め、乱れ模様を織り出した古代の上等の布です。

倭文（しとおり）小学校では、昭和63年より毎年全校生で「倭文織活動」に取り組んでいます。縦糸をかけ、そこに横糸を通すという簡単な構造ですが、「手づくりの機でもこんなに織れる！」と、子ども達は満足げです。染め上げる布やその模様は、世界にたったひとつのオリジナル。子どもも先生も先人の知恵のすばらしさをぐっと身近に感じています。

これからも伝統ある郷土の文化を大切にしていきたいと思います。（取材：衣笠百合子）



海外でも展示された「どんざ」

今回は知る人ぞ知る「北淡町歴史民俗資料館」を紹介します。館内には昔の電話や時計などの生活道具やかまど、農具、タコツボなど貴重な資料がたくさん展示されています。中でも興味深いのは、刺し子の「どんざ」です。「どんざ」は昭和24～5年頃まで淡路島の各地で漁師が着ていた防寒着です。木綿を機で織り、藍染めしたものを三枚合わせて木綿糸で一針一針さして作り上げたものです。一度出かけて、美しい「どんざ」を見てみてください。

(取材：井宮安代)



珍しい昔の道具が並ぶ館内

津名町 二つの温水プール

津名町にはプールが2つもあるんですよ。

第1温水プール「カップ天国」では泳力をつけるためのコースが、第2温水プールでは健康水泳コースが数種用意されたスクールがあります。健康増進、体力維持、またシェイプアップや美容にと、町内外から多くの方がスクールに通っています。町内在住の65才以上の方はプール使用料免除、スクールに通われる方には出席分の使用料返還。また町外からスクールに通われる60才以上の方に半額免除制度があります。

私は、足のひざが痛くて階段の上り下りが苦痛でプールに通い始めましたが、今ではすっかり治り、体重・体脂肪率減、ストレス解消にもなりました。同じコースの皆さんとおしゃべりも楽しく、一石二鳥ならぬ、一石五鳥ぐらいでしょうか？とにかく効用多という思いです。

(取材：梅原桂子) 詳しくは、津名スイミングスクールまで。

第1温水プール

TEL0799-64-2269

第2温水プール

TEL0799-62-7170



三原町

いちばん星



明るい雰囲気店内

オープンから1年を迎える「いちばん星」。こは地域交流サロンとして、精神障害者の親の会が運営しています。店内には地域住民が作ったアクセサリーや、「きらら作業所」、「ウインズ」の入所者が作ったクッキーなどが販売されています。喫茶コーナーには、おいしくて格安のメニューが豊富で、お昼時には地域の人達で大にぎわい。

障害のある人もない人も集い、交流できる場として、地域になくてはならない場所です。

(取材：秦江里子)

いちばん星 バザーのお知らせ

11月9日(火) 9:00～14:00

「さくらんぼ」、「新淡路病院」、「南淡路病院」や地域の方々の協力を得て、花の苗などを販売します。ぜひお越しください。

連絡先：いちばん星TEL0799-42-5556

体にいいものを食べましょう！ 大豆とひじきの炊き込みご飯&大豆のトマトスープ



炊き込みご飯のおにぎり

《材料》(4人分)

大豆水煮 130g ひじき 110g、
にんじん 1/2本 米 2カップ、
ちりめんじゃこ10g だし汁450ml
うす口しょう油 小さじ2
塩 小さじ1/4、 白ゴマ 適量

《作り方》

米は30分前に洗っておく。
炊飯器に 米とすべての材料を入れ、
軽く混ぜ、普通に炊く。
器に盛り、香ばしく煎った白ゴマをふる。

《材料》(4人分)

大豆水煮 大さじ2 トマトジュース190g
鶏がらスープ顆粒 小さじ1/4
卵 1個 塩・こしょう 少々
パセリみじん切り 少々

《作り方》

耐熱容器に材料を全部入れ、
電子レンジで3分間加熱する。
器に入れ、パセリまたはク
ラッカーを割って入れるな
ど、好みでトッピングする。



トマトスープ

先日開催された「淡路食文化研究会」の調理実習メニューからレシピをいただきました。

淡路食文化研究会の連絡先：代表 坂本和子さん (TEL0799-55-1382)

南淡町 地域ステーション

地域活性化活動 ～特技が生きる交流ひろば～



なごやかな雰囲気の中で活動中

交流ひろばの部屋に入ると、壁いっぱい、机の上いっぱいに作品が飾られているので、それだけで楽しくなります。地域活性化活動の代表楓るみ子さんは「いつでも、数人寄れば楽しく語り合いながらデザイン、手芸、小物づくり、料理教室などいろんなことをしています」と言いながらアイディアいっぱいの作品を見せてくれました。

今日は地域リーダー養成の読書会が行われていました。日曜日には図書館で読み聞かせの会もしています。地域活性化活動についての取材に関しては次のコメントをいただきました。

国生みの島伝説、美しい海岸線のある自然環境、豊富な海の幸・山の幸、こうした風土資産を生かして、よそにはない淡路島ならではのオンリーワンのまちづくりができれば、すばらしいことだと考えます。

私たちはあの阪神・淡路大震災という未曾有の災害から復興を成し遂げてきましたが、住民の地域を良くしようというボランティア精神が大きな原動力となりました。地域住民の横のつながり、いわゆるネットワークをよい状態に維持することができれば災害に対して大きな力を発揮します。

昨今の長引く不況や発生確率が高くなっている南海地震に臆することなく、地域住民一人ひとりが淡路島の風土資産を活かしたまちづくりに参加することで、町は活性化し、災害に強くなるのです。問題はその方法です。より良い方法を探るため、まず、いろんな専門家の知恵を自分のものにしましょう。（取材：坂本和子）

*連絡先：代表 楓るみ子 0799-52-0238



きれいな作品の出来上がり

ちよいワザ おおワザ おもしろワザ名人 を紹介しま～す！

このコーナーでは、ちょっとしたワザや大ワザ、おもしろワザをもつボランティアの方を紹介します。「おもしろワザを教えてほしい！」という方は淡路生活創造情報ブラザ担当までご連絡ください。

楽しいこと、
おもしろいこ
とが大好き！



イラスト制作中！



作品「うれしくってくすぐったい」

応援隊2年生の井宮安代さん。毎月「ポケットあわじ」にかわいいイラストを描いてくれるので読者の皆さんにもおなじみですね。井宮さんは約10年前から淡路文化会館の美術展示ボランティアとして活動しています。

本職はアーティスト。いろいろなところで井宮さんの作品が見られます。一宮町のパルシェ付近の壁に描かれた花の絵も井宮さんとお友達の作品です。

井宮さんはその時の気持ちを色と形に表した作品の数々で「いやし」や「なごみ」の空間をつくり上げます。

10月には北淡町民センターで個展を開きました。

12月には震災10周年を機に、神戸でチャリティー個展を開きます。自らも北淡で被災したアーティストとして出展し、売り上げの一部は寄付する予定になっています。ぜひ立ち寄ってください。

*開催場所：神戸市元町「カフェ6丁目」TEL078-371-5171

期間：12月1日～12月28日